

平成 30年 07月 09日

国土交通大臣 殿

地域型住宅グリーン化事業 適用申請書  
【平成30年度】

本申請書の内容により、地域型住宅グリーン化事業の適用を申請します。  
この申請書及び添付資料に記載の事項は、事実と相違ありません。

地域型住宅の名称

信玄の家まもり

グループの名称

チーム ゼロ 山梨

直近採択グループ番号

06-0353-0373

(グループ代表者)

代表者名

長田 敏三

代表者印

代表者所属先

SUN建築設計事務所

代表者所在地

山梨県北杜市高根町村山北割1612

代表者電話番号

0551-47-3112

(グループ事務局)

事務局事業者名

SUN建築設計事務所

事務局担当者名

長田 敏三

印

事務局郵便番号

408-0002

事務局所在地

山梨県北杜市高根町村山北割1612

事務局電話番号

0551-47-3112

事務局FAX

0551-47-3112

事務局担当者E-mail

teamzero\_yamanashi@yahoo.co.jp



B. 平成30年度における補助対象の木造住宅 の申請要望戸数、地域材加算要望戸数、 三世代同居対応加算要望戸数 (必須)	長寿命型	長期優良住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限100万円)		0	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	0	戸		
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸		
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限100万円)		0	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸		
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸		
	長寿命型	長期優良住宅	未経験工務店(3戸(7戸)以下)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限110万円)		2	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	2	戸		
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸		
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限110万円)		1	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸		
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸		
	高度省エネ型	認定低炭素住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限100万円)		0	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	0	戸		
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸		
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限100万円)		0	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸		
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸		
		認定低炭素住宅	未経験工務店(3戸(7戸)以下)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限110万円)		2	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	2	戸		
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸		
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限110万円)		0	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸		
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸		
性能向上計画認定住宅		経験工務店(4戸(8戸)以上)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限100万円)		0	戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	0	戸			
				上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸			
			その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限100万円)		0	戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸			
				上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸			
性能向上計画認定住宅		未経験工務店(3戸(7戸)以下)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限110万円)		5	戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	5	戸			
				上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸			
			その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限110万円)		0	戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸			
				上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸			
ゼロ・エネルギー住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)による申請戸数	今年度要望する戸数(上限125万円)		6	戸				
		加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	6	戸				
			上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸				
		その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限125万円)		2	戸				
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸				
			上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸				
ゼロ・エネルギー住宅	未経験工務店(3戸(7戸)以下)による申請戸数	今年度要望する戸数(上限140万円)		4	戸				
		加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	4	戸				
			上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸				
		その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限140万円)		0	戸				
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸				
			上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸				
C. 平成30年度当初予算における補助対象の優良建築物の申請要望棟数及び床面積	優良建築物の申請棟数		今年度要望する棟数及び面積		0	棟			
				0	m <sup>2</sup>				
		その内9月までに交付申請が確実にできる棟数及び面積		0	棟				
						0	m <sup>2</sup>		
D. 当提案が採択された場合の各住宅事業者における補助対象戸数の配分ルール (必須)	まず契約物件を優先的に配分し、採択金額を超える場合は未経験事業者を優先に配分。次に契約見込み物件の未経験事業者を優先に配分。								
E. 平成29年度の執行状況 (必須)	長寿命型(長期優良住宅)								
	採択戸数	1	戸	交付申請戸数	1	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	1	戸
	高度省エネ型(認定低炭素住宅)								
	採択戸数	0	戸	交付申請戸数	0	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0	戸
	高度省エネ型(性能向上計画認定住宅)								
	採択戸数	1	戸	交付申請戸数	1	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	1	戸
高度省エネ型(ゼロ・エネルギー住宅)									
採択戸数	4	戸	交付申請戸数	4	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	4	戸	
優良建築物型									
採択棟数	0	棟	交付申請戸数	0	棟	完了実績(竣工予定含む)棟数	0	戸	
採択床面積	0	m <sup>2</sup>	交付申請床面積	0	m <sup>2</sup>	完了実績(竣工予定含む)床面積	0	m <sup>2</sup>	





















1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 信玄の家まもり	(地域型住宅供給対象地域) 山梨県
2. グループの名称・結成年(必須)	(グループの名称) チームゼロ山梨	(結成年) 2015年
3. 過去のグリーン化事業採択グループ番号(必須)	06-0353-0373	
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は○印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。		
ア. 特徴ある地域型住宅の目標設定		
【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄
①地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の重視する性能	□山梨(甲州)地区の気候風土(厳しい寒さ・暑さ)にあった、住みやすい確かな基本性能(断熱省エネ)を標準とする。 ⇒断熱性能等級4を全棟標準とする ⇒発泡ポリウレタン製断熱材、全棟気密測定の実施 ⇒全棟、省エネ全熱交換型換気システムの設置	◎
②地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の建て方や様式	□住まい手が安心して暮らせる長持ちする住宅。 ⇒(劣化対策) 1)基礎断熱(または床断熱)施工 2)基礎高400mm以上を標準とする(基礎劣化対策) 3)浴室ユニットを標準とする ⇒(維持管理性)『維持管理対策等級3』の基準の内、下記のどれかを最低2つクリアする →専用配管が、壁、柱、床、はり及び基礎の立ち上がり部分を貫通する場合を除き、コンクリート内に埋め込まれていないこと →字中に埋設された管の上にコンクリートが打設されていないこと →専用の排水管には、掃除口が設けられているか、または掃除が可能な措置が講じられトラップが設置されていること ⇒(耐震性)耐震等級2以上を標準とする(長寿命型住宅のみ)	◎
③地域の気候・風土等に根差した地域型住宅のデザインルール	【地域資源を大切にする】 □(健康性)甲州八ヶ岳おろし(季節風)、風通しを心掛けたデザインを提案推奨する。 □(環境性)水を大切にする提案を行なう。(節水型トイレ、節水型蛇口、富士山麓の水等)	◎
④①～③の背景	□山梨県の気候は、甲府盆地を中心として夏暑く、冬は八ヶ岳おろし(季節風)が強く吹くなど寒く、降水量も少ない典型的な盆地の内陸性気候である。また、富士山、山岳、森林、湖沼、渓谷などの優れた景観に富み、自然公園にも指定されている。他方、伝統文化・工芸が古くから発達しており、武將「武田信玄」に代表される甲州水晶貴石細工、甲州印伝など優れた文化と工芸が引き継がれている。 以上を背景に当グループの地域住宅のコンセプトを甲州の「風」、「緑」、「日光」、「水」を大切にすることとし(「風・林・火・山」とし、山梨の風土のあった住みやすい住宅を提供する。また、「家まもり」として住宅の維持管理を積極的に進めていくものとしている。	◎
⑤その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	□(環境性と清潔クリーン性) ⇒節水型トイレの標準使用。(環境対策) □(地域性)全施主へ地元「甲州ワイン」を贈呈する。	◎
イ. 効率的で適切な就業環境が確保された住宅生産体制の整備		
【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a		
①-1 用材の寸法規格化	□ 行っていない ■ 行っている → 内容: 木造軸組工法で統一。階高の規格設定。 耐震・断熱・気密性能を合理的にかつ簡易に取得できるパネル工法を採用。	◎
①-2 使用建材の統一	□ 行っていない ■ 行っている → 内容: 発泡ポリウレタン製の高断熱材を使用する。	◎
①-3 標準仕様の設定	□ 行っていない ■ 行っている → 内容: 基礎断熱(または床断熱)の実施。 省エネ全熱交換型換気システムの設置。 節水型トイレの設置。	◎
②-1 建材・資材調達の見積り共同化	□ 行っていない ■ 行っている → 内容: 一部の住設(建材)については、共通の流通事業者より共同購入することで合理化をすすめる。	◎
②-2 調達事務の合理化	□ 行っていない ■ 行っている → 内容: 一部の住設(建材)については、グループ共通の見積書を作成する。	◎
③ 生産の合理化等に向けた検討委員会等の設置	□ 行っていない ■ 行っている → 内容: グループ構成員による毎月定例勉強会を実施していく。 その中で、生産の合理化などに資する取組、グループの中長期的な方針・取組について検討していく。	◎
④ 生産の合理化等に向けて事務局が果たす役割	□ ない ■ ある → 内容: 生産の合理化などに資する取組に関し、事務局が積極的に情報を収集し、検討テーマを設定する。	◎
b		
① グループの信頼性向上に向けた施工基準	□ ない ■ ある → 内容: 全棟、気密測定を実施する。	◎
② グループの信頼性向上に向けた検査ルール	□ ない ■ ある → 内容: 全棟、気密測定を実施し、共通の性能報告書を作成の上、お施主様に提出する。	◎
③ グループの信頼性向上に向けた見積・積算のルール	□ ない ■ ある → 内容: グループ共通の見積書を検討・作成する。	◎
④ グループの信頼性向上に向けたその他の具体的取組	□ ない ■ ある → 内容: 施工現場等の現況検査を実施し、住宅瑕疵保険に全棟加入する。	◎
c		
① 週休2日制の導入の取組	■ ない □ ある → 内容:	○
② 技能や経験にふさわしい処遇の実現に向けた取組	■ ない □ ある → 内容:	○
③ 社会保険への加入	□ ない ■ ある → 内容: 協力業者全てに徹底を促す。	◎
④ 安全及び健康の確保のための取組	□ ない ■ ある → 内容: 1年1回の定期検診の結果を踏まえ自己管理を行うよう促す。	◎
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	123	

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 信玄の家まもり	(地域型住宅供給対象地域) 山梨県	
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) チーム ゼロ 山梨	(結成年) 2015 年	
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	06-0353-0373		
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において必ず実施する取組の場合は☑印、グループが目標とする場合は☒印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。			
ウ. 長期にわたる住宅メンテナンス体制の整備			
【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄	
a	① 住宅履歴情報の蓄積		
	①-1 内容・蓄積の共通ルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 住宅履歴情報30年間保管と維持管理記録の更新蓄積を行う。グループ共通で共通した定期点検時期・点検項目を統一する。	◎
	①-2 情報サービス機関の活用	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 住宅履歴情報サービス機関で住宅履歴情報30年間保管と維持管理記録の更新蓄積を行	◎
	①-3 履歴情報蓄積の確認手法	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 施工業者にて個別に確認する。	◎
	② メンテナンスの整備		
	②-1 点検の共通ルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: グループ共通で共通した定期点検時期・点検項目を統一する。住宅の緊急トラブルに対応するため、お客様向け24時間不具合対応コールセンターサービスを導入する。	○
	②-2 補修の共通ルール	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
	②-3 点検補修実施の確認手法	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
	③ 住まいの管理		
	③-1 住まい管理勉強会の実施	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 「快適説明会」として住まい方勉強会を行う。	◎
③-2 DIY体験会等の実施	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:		
③-3 その他の相談会等の実施	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: お客様向けの構造見学会、完成見学会を行う。	◎	
④ 維持管理委員会等の設置	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: グループにおいて「維持管理委員会」を設置する。		
⑤ その他の維持管理の手法	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: グループ共通の「住宅維持管理計画書」を統一作成する。	◎	
b	① グループ構成員の倒産廃業時のバックアップルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: グループ構成員同士による助け合いの仕組みをつくる。廃業等が発生した場合、他の構成員によってその後の点検、維持管理、メンテナンス等のサポートを実施する。	◎
	② 過去の瑕疵内容等に学ぶ勉強会の実施	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 定例勉強会に内容を盛り込み実施する。	◎
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。			
エ. グループの技術力の向上			
【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄	
a	① 未経験工務店等への施工技術研修会等の開催	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 月1回の定例勉強会において実施経験のある施工会社をグループリーダーとして迎え、未経験工務店への実務研修を実現する。	◎
	②-1 品質管理のための共通ルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 施工現場全ての隙間相当面積を事務局に報告することを義務化する。	◎
	②-2 上記共通ルールが守られていることの確認手法	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 施工現場全ての隙間相当面積を事務局に報告することを義務化し、事務局はそれを確認して管理する。	◎
	③-1 需給計画の策定	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 年一度、目標棟数及び達成計画書を個別に作成する。	◎
	③-2 技術力向上のための中長期的な計画	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 定例会において、技術力向上に資する取組等についてグループの中長期的な方針・取組について検討していく。	◎
	④ ③に基づく業種ごとの合理化の取組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 原木事業者・プレカット事業者とも積極的に情報共有を進める。	◎
	b	①-1 省エネ技術講習会への施工事業者社員の参加人数	昨年度までの終了者数 5 今年度の参加目標人数 4
①-2 省エネ技術講習会への請負技能者等の参加人数		昨年度までの終了者数 6 今年度の参加目標人数 6	◎
② 省エネ技術講習会への参加促進のための取組		<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: さらに上乘せ受講の目標を設定し、積極的に受講する。技術講習会の日程情報を事務局中心に共有・周知することにより参加を促進する。	◎
c	① 新たな技術等の導入	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: パッシブ設計手法を積極的に導入する。	◎
	② 新たな技術等の開発	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。		2017年度にハウスオブザイヤーインエナジー2017に申し込み2年連続して優秀賞を受賞することができたので本年度も申し込み、よりグループの技術力が向上した提案を行う。	○

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 信玄の家まもり	(地域型住宅供給対象地域) 山梨県												
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) チーム ゼロ 山梨	(結成年) 2015 年												
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	06-0353-0373													
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。														
オ. 地域の産業・住文化・景観等への寄与														
【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄												
a	地域材利用に関する													
①	共通 ルール(必須)	□グループで指定した地域材を主要構造材(柱・梁・桁・土台)に使用する。また2次部材についても積極的に使用する。												
②	地域材利用の1棟当 たりの割合(必須)	□ 50%未満    ■ 50%以上    □ 80%以上												
③	標準的な地域材の使 用部位(必須)	<table border="1"> <tr> <td>主要構造材</td> <td>土台: □ 使用していない    ■ 使用している</td> </tr> <tr> <td></td> <td>柱: □ 使用していない    ■ 使用している</td> </tr> <tr> <td></td> <td>梁・桁等の横架材等: □ 使用していない    ■ 使用している</td> </tr> <tr> <td>羽柄材</td> <td>間柱、根太、垂木等: ■ 使用していない    □ 使用している</td> </tr> <tr> <td>造作材</td> <td>枠材、廻縁等: □ 使用していない    ■ 使用している</td> </tr> <tr> <td>板材</td> <td>壁板、床板等: ■ 使用していない    □ 使用している</td> </tr> </table>	主要構造材	土台: □ 使用していない    ■ 使用している		柱: □ 使用していない    ■ 使用している		梁・桁等の横架材等: □ 使用していない    ■ 使用している	羽柄材	間柱、根太、垂木等: ■ 使用していない    □ 使用している	造作材	枠材、廻縁等: □ 使用していない    ■ 使用している	板材	壁板、床板等: ■ 使用していない    □ 使用している
主要構造材	土台: □ 使用していない    ■ 使用している													
	柱: □ 使用していない    ■ 使用している													
	梁・桁等の横架材等: □ 使用していない    ■ 使用している													
羽柄材	間柱、根太、垂木等: ■ 使用していない    □ 使用している													
造作材	枠材、廻縁等: □ 使用していない    ■ 使用している													
板材	壁板、床板等: ■ 使用していない    □ 使用している													
④	地域材の流れ(フロー図) などグループの取組に關 する補足説明	<p>【補足】地域型住宅の地域材供給の流れについて</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・原産国が海外の合法木材については、産地・出荷者が多岐にわたり原木供給者、製材会社の特定が困難な場合が多々ある。その為、海外の合法木材を使用する場合は、原木供給、製材に該当する業者は構成員に含まず、流通グループに所属する構成員による合法性の証明によって代替する。</li> <li>・原木が国有林等から供給される地域があるため、該当地域においては供給ルートに原木供給業者が含まれない。</li> <li>・一部、流通を介さずに地域材の調達を行う場合がある。</li> <li>・一部の施工グループの構成員においては、全て手刻みによる加工を行うため、プレカット会社を使用しない場合がある。</li> </ul>												
b	①-1 地域材在庫把握の仕組	■ ない    □ ある → 内容:												
	①-2 地域材価格の共有の仕組	■ ない    □ ある → 内容:												
	② グループ全体における地 域材の需給予測	□ 行っていない    ■ 行っている → 内容: 主要構造材の材積の平均はおおむね10㎡/棟×採択希望棟数19棟×材積率50% = グループの主要構造材の材積合計はおおむね95㎡となる。												
c	①-1 畳の活用	■ 行っていない    □ 行っている → 内容: 今年度の使用予定枚数(1畳換算)    枚												
	①-2 和瓦の活用	■ 行っていない    □ 行っている → 内容: 今年度の使用予定枚数:    坪												
	①-3 襖の活用	■ 行っていない    □ 行っている → 内容: 今年度の使用予定枚数(3×6換算)    枚												
	①-4 障子の活用	■ 行っていない    □ 行っている → 内容: 今年度の使用予定枚数(3×6換算)    枚												
	②-1 その他地域の伝統的な素 材の活用	■ 行っていない    □ 行っている → 内容:												
	②-2 その他地域の伝統的な意 匠の活用	■ 行っていない    □ 行っている → 内容:												
d	① 地域の伝統的なデザ インを継承する取組	■ 行っていない    □ 行っている → 内容:												
	② 地域の住まい方の継承に つながる取組	□ 行っていない    ■ 行っている → 内容: 生活の手引き書による住まい方の提案を「快適説明会」(年1回程度)として開催する。												
	③ 地域の街並み形成へ寄 与する取組	■ 行っていない    □ 行っている → 内容:												
	④ 和の住まいの要素を取 入れた取組	■ 行っていない    □ 行っている → 内容:												
	その他 ※上記項目以外でグループ独自の ルール・目標があれば記入 してください。	□(地域特産・振興)全施主へ地元「甲州ワイン」を贈呈する。												
カ. その他														
【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄												
	東日本大震災の復興に資する取組													
	平成28年熊本地震の復興に資する取組													

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) <b>信玄の家まもり</b>	(地域型住宅供給対象地域) <b>山梨県</b>
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) <b>チーム ゼロ 山梨</b>	(結成年) <b>2015年</b>
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	<b>06-0353-0373</b>	

4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み

キ. グループが取組む木造住宅・建築物の特徴

※この項目は、高度省エネ型、優良建築物型を申請するグループのみ記入してください。

※申請に係る認定低炭素住宅、性能向上計画認定住宅、ゼロ・エネルギー住宅、優良建築物の性能や特徴等について記入してください。

山梨県は日照時間が長く、盆地形状の為、夏と冬の気温差が大きいため、朝晩の気温差も大きいのが特徴です。パッシブ設計の考えを取り入れることでこれらの自然条件がとても有利に建物に影響してきます。

### 夏涼しく、冬暖かく過ごすための、自然採暖採涼設計

**自然の風を取り入れて家の中を通す工夫**

**夏は日射しを遮り冬は日射しを取り込む工夫**

#### 光を知る

季節や時間による日射しの変化を活かした、採光を計画

太陽の光と熱を暮らしに活かすには、基本的な日射しの特性を知っておく必要があります。季節や時間による太陽の高度や方位、日射量を考慮し、採光計画をたてるのが暮らしを快適にするポイントとなります。

[季節による太陽高度(東京)]

夏の涼しく過ごすには、強い日射しを遮る工夫を

夏は強い日射しを防ぐ「日射遮蔽」が重要です。特に夏場の南面には庇、西面にはルーバーなどでの日射遮蔽対策が有効です。また、外付けシェード、オーニングは日射しの眩しさを和らげるので、遮光としても有効です。

#### 風を知る

周辺の住環境を把握した全体計画を

自然の風を暮らしに取り入れるには、まず周辺の地形や住環境を把握することが大切。海風、川風、山から吹き下ろす風、周辺の住宅やマンションなどの建物の配置を考慮し、通風計画を行う必要があります。

**窓の設計と開け方の工夫が大切**

自然の風を取り入れるには、風や空気の特徴を上手く利用する必要があります。温度の違いによって空気の流れをつくる温度差換気の利用や、家の脇を通り抜ける風を捕まえるなど、窓の設計や開け方を工夫しましょう。

窓の高低差を利用した温度差換気

窓の開く向きを逆にして風をキャッチ

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。